

宝積山 光前寺



①



③



④



②



⑤

①本堂 ②三重塔 ③仁王門 ④庭園 ⑤参道

宝積山光前寺は平安時代清和天皇貞観二年、本聖上人により開山された古刹であり、不動明王を本尊とする南信州随一の祈願霊場として広く信仰をあつめている。古くは武田家・徳川家等の保護を受け隆盛を極めたが、幾多の火災により古い堂塔記録等は消失した。

今なお、境内には本堂・三重塔（長野県宝）・弁天堂（国重文）・三門・経蔵・十王堂・鐘楼・大講堂・仁王門・本坊庫裏客殿・別院等の堂塔を備え長野県下屈指の大刹である。静寂な環境と風致は長野県下随一と称され、境内全域を含む約六、七ヘクタールは「光前寺庭園」として国の名勝に指定されている。

霊犬早太郎伝説や光苔・枝垂れ桜の寺としても知られている。

宝積山 光前寺

住所／〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂29
電話番号／0265-83-2736